

第 36 回新薬創製談話会開催報告

新薬創製談話会は 1993 年に発足した勉強会であり、新薬発見に情熱を燃やす産官学の研究者が集まり、研究の振興、ネットワーキング、若手研究者の育成を図る場となっています。今年度は令和 8 年 8 月 3 日～4 日に、第 36 回新薬創製談話会を公益財団法人日本感染症医薬品協会との共催で開催いたしました。酷暑が想定された埼玉県熊谷市での開催でしたが、天候にも恵まれた比較的涼しい環境の中、「創薬を加速する知の融合」のテーマの下、天然物化学やケミカルバイオロジー研究に携わるアカデミアおよび製薬企業等から 70 名近くの研究者が参加し、特別講演(2 件)、招待講演(4 件)、企業講演(2 件)、ポスター発表(26 件)が行われました。基礎研究から創薬現場までの最先端の研究結果が発表され、研究参加者間で活発な討論や情報交換が行われました。当該分野の最新の情報を得るとともに参加者相互の交流が深まり、大変有意義な談話会となりました。

第 36 回新薬創製談話会 “創薬を加速する知の融合”

1. 日時: 令和 8 年 8 月 3 日～4 日
2. 場所: ホテルヘリテイジ 四季の湯温泉
3. 参加者: 69 名
4. 運営団体: 主催 第 36 回新薬創製談話会実行委員会
共催 公益財団法人 日本感染症医薬品協会



実行委員長: 臼井健郎(筑波大)、浅見行弘(北里大)

常任幹事: 掛谷秀昭(京大)、川田学(微化研)、伊藤昭博(東薬大)、大城太一(北里大)、
二村友史(理研)、荒井緑(慶大)、田代悦(昭薬大)、紙透伸治(麻布大)、
西村慎一(広島大)、淡川孝義(理研)

幹事: 田端祐二(Meiji Seika ファルマ)、谷口昌要(大鵬薬品工業)、青木雅弘(AMED)、
勝俣良祐(エーザイ)

監事: 村松康範(第一三共 RD ノバーレ)、笹澤有紀子(順天大)

顧問: 長田裕之、塩見和朗、供田洋、井本正哉、日野資弘、及川信三、吉田稔、早川洋一